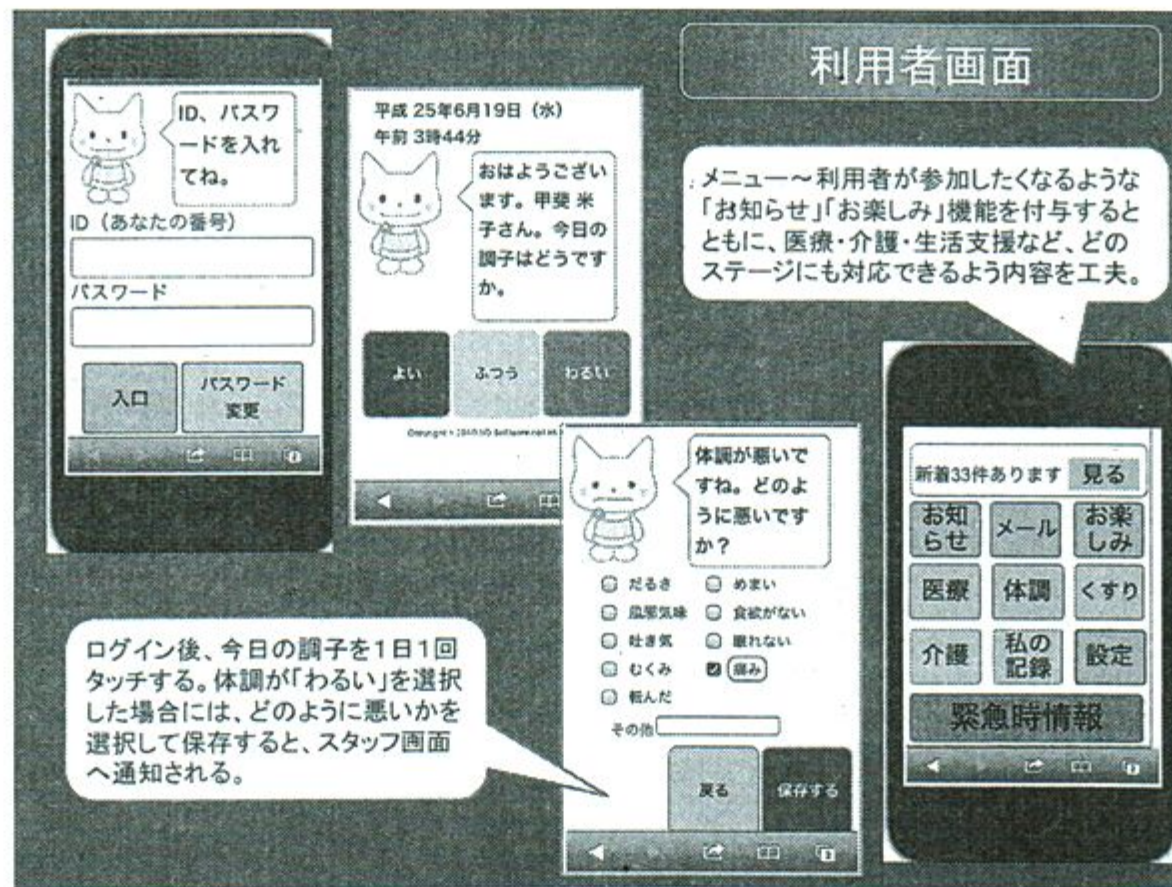


Business Radar



地域包括ケアシステム構築を支援

医療・介護・生活支援一体型ソフト Personal Network「ぱるな」

函館市の高橋病院は、NDソフトウェア(山形県)と「医療・介護・生活支援一体型ソフトPersonal Network ぱるな」を共同開発した。地域包括ケアシステム構築を視野に、医療、介護、利用者が双方向で情報を共有し、適切なサービス提供と自立支援・生活力の向上を目指す。

同病院では、患者情報を複数の医療・介護職が同一画面上で把握できる連携ネットワークシステム「ID-LINK」、スマートフォンやデジタルペンの活用で在宅の利用者・家族も参加し、ADL評価や見守りを実施

する「どこでもMY LIFE」などITを活用したネットワーク構築に取り組んできた。

「Personal Network ぱるな」はこれらノウハウを統合・発展させ、患者・利用者を中心に地域で関わるすべての施設、職種がどの段階でも活用でき、多職種から寄せられた情報の一括閲覧が可能となる。

スタッフ用のトップ画面は連絡票、基本情報、医療・介護情報、本人発信情報に分かれ、本人

発信情報欄には本人の医療、介護、薬剤情報のほか、日々のバイタル、体調、痛み、血糖値等をチェックする項目を設定。体調の悪い日が継続したり、一定期間ログインがない場合は、担当者に通知が届きサポートにつながる。

また、生い立ちや趣味、将来希望する介護者、告知、延命治療、臓器提供等の項目も開示意志を踏まえて設け、介護の導入や末期段階まで継続して活用できるよう構築。

ITに不慣れな介護スタッフや利用者にとって扱いやすいよう操作性は可能な限り簡略化。簡単な内容であれば音声入力でもメール送信が可能。訪問時記録は介護ソフトと連動させ、画面上に打ち込むだけで所定用紙に反映できる。

データ管理は、クラウドサービスによって完全一元化する。問い合わせはNDソフトウェア03(6667)5600。